



## 2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社  
コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	9,244	24.1	276	3.8	132	71.7	75	10.2
2022年6月期第1四半期	7,448	36.6	266	27.3	77	25.8	83	

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 78百万円 (11.8%) 2022年6月期第1四半期 69百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
2023年6月期第1四半期	2.66
2022年6月期第1四半期	2.96

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第1四半期	36,069	3,675	10.2	129.84
2022年6月期	40,372	3,596	8.9	127.08

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 3,675百万円 2022年6月期 3,596百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		0.00	0.00
2023年6月期					
2023年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,961	4.7	1,941	148.6	1,065	173.6	838	80.9	29.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

物件の引渡時期による業績変動が大きいことから、第2四半期(累計)の連結業績予想の開示は見合わせ、通期のみの開示とさせていただきます。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	28,306,000 株	2022年6月期	28,306,000 株
期末自己株式数	2023年6月期1Q	76 株	2022年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	28,305,924 株	2022年6月期1Q	28,305,924 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年7月1日～2022年9月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響を受け、個人消費を中心に回復ペースが鈍化したものの、経済・社会活動の制限緩和が進み、緩やかではありますが回復基調にあります。一方では、急激な円安進行や継続するウクライナ情勢の緊迫化等による物価・原材料価格の高騰など先行きは依然として不透明であり、市場の変動等に十分な注意が必要な状況にあります。

当社グループが属する不動産業界におきましては、首都圏の新築分譲マンション市場は、住宅取得支援政策や安定的な住宅ローンの低金利等により、供給・需要ともに堅調に推移しております。また、投資用不動産につきましても、継続する低金利や円安等を背景に海外投資家の国内不動産に対する注目度は高く、依然旺盛な状況にあります。

このような状況下当社グループでは、収益物件4物件の引渡しを行うとともに、分譲マンション及び収益マンションについて、首都圏を中心に用地仕入れ及び開発・販売に努めております。

ホテル業界においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により、旅行需要やイベント開催等の増加、県民割等の政府自治体の政策もあり、国内需要は回復傾向にあります。また、「全国旅行支援」のスタートで、今後も需要の活性化が期待されます。インバウンド需要については、外国人観光客の受入条件のより一層の緩和や円安等により回復基調ではあるものの限定的であり、ホテル業界の本格的な稼働回復にはまだ暫くの時間を要するものと思われまます。当社グループでも国内需要に対する回復基調にはあるものの、一部ホテルの休業は継続しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高9,244百万円(前年同四半期比24.1%増)、営業利益276百万円(前年同四半期比3.8%増)、経常利益132百万円(前年同四半期比71.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益75百万円(前年同四半期比10.2%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### [分譲マンション事業]

分譲マンション事業におきましては、当第1四半期連結累計期間における引渡実績はありませんでした。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高一百万円(前年同四半期は売上高1,330百万円)、営業損失74百万円(前年同四半期は営業利益133百万円)となりました。

#### [収益物件事業]

収益物件事業におきましては、「石川町プロジェクト」、「溝のロプロジェクト」等、4物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高4,655百万円(前年同四半期比20.3%減)、営業利益1,026百万円(前年同四半期比115.2%増)となりました。

#### [販売代理事業]

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部20物件30戸、東京都下1物件1戸、神奈川県2物件3戸、埼玉県1物件1戸、合計24物件35戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高42百万円(前年同四半期比63.0%減)、営業損失61百万円(前年同四半期は営業利益4百万円)となりました。

#### [建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2022年9月30日現在のマンション管理戸数が3,776戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高116百万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益12百万円(前年同四半期比6.7%減)となりました。

#### [ホテル事業]

ホテル事業におきましては、京都におけるホテル運営及び「浅草花川戸プロジェクト」の引渡しなどを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高4,412百万円(前年同四半期は売上高19百万円)、営業損失384百万円(前年同四半期は営業損失167百万円)となりました。

#### [その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高18百万円(前年同四半期比76.0%減)、営業損失0百万円(前年同四半期は営業利益3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ4,303百万円減少し36,069百万円となりました。負債については前連結会計年度末から4,381百万円減少し32,394百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から78百万円増加し3,675百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、物件の引渡などにより販売用不動産が4,363百万円減少したことによるものであります。負債の主な変動要因については、有利子負債が4,759百万円減少したことによるものであります。また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が75百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年8月10日に公表しました通期予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,963,253	2,144,560
売掛金	32,256	72,803
販売用不動産	17,276,290	12,912,544
仕掛販売用不動産	19,571,082	19,129,526
前払費用	579,155	741,160
その他	248,500	423,090
流動資産合計	39,670,538	35,423,686
固定資産		
有形固定資産	56,356	54,216
無形固定資産	11,008	9,687
投資その他の資産		
投資有価証券	4,130	4,061
長期貸付金	486,582	336,436
繰延税金資産	56,773	9,468
その他	636,307	613,264
貸倒引当金	△548,714	△380,912
投資その他の資産合計	635,079	582,317
固定資産合計	702,444	646,220
資産合計	40,372,982	36,069,907
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	538,417	736,008
短期借入金	8,988,000	15,545,600
1年内返済予定の長期借入金	2,541,046	5,502,570
1年内償還予定の社債	1,400,000	1,400,000
未払金	212,856	433,735
未払法人税等	78,003	30,513
未払消費税等	206,304	193,103
前受金	808,302	1,038,543
賞与引当金	8,910	33,434
その他	378,234	160,733
流動負債合計	15,160,074	25,074,242
固定負債		
社債	340,000	310,000
長期借入金	21,151,713	6,912,601
繰延税金負債	33,181	15,108
その他	91,034	82,747
固定負債合計	21,615,929	7,320,457
負債合計	36,776,004	32,394,700

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,924,376	1,924,376
資本剰余金	2,870,605	2,870,605
利益剰余金	△1,099,814	△1,024,486
自己株式	△33	△33
株主資本合計	3,695,133	3,770,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230	160
為替換算調整勘定	△98,384	△95,415
その他の包括利益累計額合計	△98,154	△95,255
純資産合計	3,596,978	3,675,207
負債純資産合計	40,372,982	36,069,907

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）
売上高	7,448,173	9,244,252
売上原価	6,344,270	8,062,731
売上総利益	1,103,903	1,181,520
販売費及び一般管理費	837,798	905,213
営業利益	266,105	276,306
営業外収益		
受取利息	2,358	2,156
受取手数料	505	2,802
解約精算金	—	1,269
受取地代家賃	1,918	3,929
貸倒引当金戻入額	—	54,414
雇用調整助成金	5,808	1,002
その他	1,499	2,381
営業外収益合計	12,089	67,956
営業外費用		
支払利息	153,415	185,385
支払手数料	39,464	22,275
為替差損	115	3,723
貸倒引当金繰入額	5,093	—
その他	2,772	138
営業外費用合計	200,862	211,521
経常利益	77,332	132,741
特別利益		
投資有価証券売却益	11,506	—
特別利益合計	11,506	—
特別損失		
固定資産除売却損	340	576
投資有価証券売却損	125	—
特別損失合計	465	576
税金等調整前四半期純利益	88,372	132,164
法人税、住民税及び事業税	33,208	27,604
法人税等調整額	△28,701	29,231
法人税等合計	4,506	56,836
四半期純利益	83,866	75,328
親会社株主に帰属する四半期純利益	83,866	75,328

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	83,866	75,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,595	△69
為替換算調整勘定	△326	2,969
その他の包括利益合計	△13,922	2,899
四半期包括利益	69,943	78,228
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,943	78,228

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルスの感染拡大の影響による会計上の見積り）

当第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度における有価証券報告書の（追加情報）に記載した内容から重要な変更はありません。

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月21日。以下「実務対応報告第42号」という）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2021年7月1日至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション 事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財 及びサービス	1,330,943	5,769,849	113,879	—	16,147	7,230,820
一定の期間にわたり移 転される財及びサービ ス	—	73,456	—	117,142	3,021	193,620
顧客との契約から生じ る収益	1,330,943	5,843,305	113,879	117,142	19,169	7,424,440
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,330,943	5,843,305	61,055	117,142	19,169	7,371,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	52,823	—	—	52,823
計	1,330,943	5,843,305	113,879	117,142	19,169	7,424,440
セグメント利益又は 損失（△）	133,656	476,913	4,543	13,408	△167,688	460,833

（単位：千円）

	その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益 計算書計上額 （注）3
売上高				
一時点で移転される財 及びサービス	56,402	7,287,222	△52,823	7,234,399
一定の期間にわたり移 転される財及びサービ ス	18,558	212,178	—	212,178
顧客との契約から生じ る収益	74,960	7,499,401	△52,823	7,446,577
その他の収益	1,595	1,595	—	1,595
外部顧客への売上高	76,556	7,448,173	—	7,448,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52,823	△52,823	—
計	76,556	7,500,997	△52,823	7,448,173
セグメント利益又は 損失（△）	3,556	464,390	△198,285	266,105

- （注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△198,285千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2022年7月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	分譲マンション 事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	ホテル事業	計
売上高						
一時点で移転される財 及びサービス	—	4,618,297	42,169	—	4,412,008	9,072,475
一定の期間にわたり移 転される財及びサービ ス	—	37,175	—	116,250	—	153,426
顧客との契約から生じ る収益	—	4,655,473	42,169	116,250	4,412,008	9,225,902
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	—	4,655,473	42,169	116,250	4,412,008	9,225,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	—	4,655,473	42,169	116,250	4,412,008	9,225,902
セグメント利益又は 損失（△）	△74,631	1,026,247	△61,349	12,509	△384,818	517,957

（単位：千円）

	その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益 計算書計上額 （注）3
売上高				
一時点で移転される財 及びサービス	19	9,072,494	—	9,072,494
一定の期間にわたり移 転される財及びサービ ス	17,230	170,657	—	170,657
顧客との契約から生じ る収益	17,249	9,243,151	—	9,243,151
その他の収益	1,100	1,100	—	1,100
外部顧客への売上高	18,350	9,244,252	—	9,244,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	18,350	9,244,252	—	9,244,252
セグメント利益又は 損失（△）	△444	517,513	△241,206	276,306

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△241,206千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。